

新型コロナウイルス感染症の発生について(第1報)

2020.5.1

当院の職員1名が新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明しました。

1. 経過

- ・4月30日(木) 行政によるPCR検査を実施、陽性を確認。当院へ入院。
- ・5月1日(金) 接触者をリストアップ、LAMP法(院内検査)を実施。
接触者全員が陰性であることを確認。

※この職員は、一般病棟および外来の患者さんへの接触は一切ありませんでした。

2. 当院の対応

積極的疫学調査実施要領の定義に該当する濃厚接触者はおらず、また接触者のLAMP法(院内検査)の結果は全員が陰性で、罹患職員からの感染の伝播を疑うデータは、現時点ではありませんが、念のため以下の対応を行うこととしました。

- ・接触者のうち罹患職員と比較的長時間の会話をした3名は、接触の程度がやや強いと判断し、2週間の自宅待機とした。
- ・接触者のうち罹患職員と空間を共有していたのみであるその他の者は、勤務可とするが、検温回数を増やし、異常時は直ちに上長に連絡することとした。

3. 地域住民、関係機関の皆さまへ

- ・当院は感染症指定医療機関であるにもかかわらず罹患者が出たことを非常に重く受け止めております。感染対策をいっそう強化し、適切な対応を実施いたします。
- ・職員間での感染伝播が認められていないことから、診療制限等を行わず、平常通りの診療を継続いたします。
- ・接触者については、引き続き厳重に健康監視を継続いたします。

このたびは当院の職員が新型コロナウイルスに感染し、地域の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は地域の中核病院として、しっかりとその役割を果たして参りたいと思いますので、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。